

交換電話機を使用するときは、時間を要する上に、全般に通報することは困難な場合が多い。このようなところに高声電話を使用すると、能率の増進を図るとともに作業の合理化ともなる。たとえばつぎのようなところがそれである。

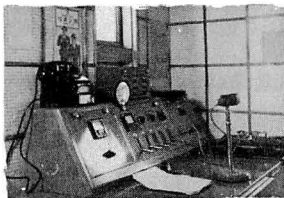
てこ扱所と現場の連結手、誘導掛、操車掛等との連絡、構内本部と関係詰所間の連絡とくにハンブ操車場のハンブ作業、継電連動装置における1人操縦とする場合等。通常の高声電話機は、たとえば信号扱所より現場従事員に対し放送連絡するのみであるが、最近同一の機器を使用し現場よりも呼出し、あるいは応答可能のいわゆるトーク・バック式のものができたから、今後はその利用範囲が広がるものと考えられる。(川崎徳政)



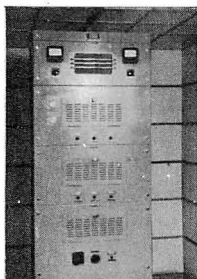
2. 高声電話

## こうせいてんわき 高声電話機 (英) public address system

真空管増幅器を使用して駅その他集会所における高声放送を行うための装置である。種類は数ワット程度の小型のものから何百ワットに至る大型のものまである。国鉄で主として用いられているものは駅ホーム、待合室、操車場であって、大体30、50ワットの2種類がある。操車場では一般放送用のほか、\*トークバック用のものが用いられている。放送室には真空管を用いた増幅器の本体と、出力を各ホーム待合室等の拡声器に選択切替を行う操縦盤とが配置され、レコード演奏やラジオを受信して拡声器に放声する装置がある所もある。拡声器はレフレックストランベツト形が主として採用されている。とくにこの装置で注意しなければならないことは周波数特性であって、放送者の原音を忠実に再生するか否か、聞くものに不快感が聞えないか否かに注意



1. 高声電話機の操縦器



2. 高声電話機の増幅器

して設計され、保守されている。国鉄における設備数は約1,500組である。(馬場 武)

## こうせきしょう 効績章 日本国有鉄道行賞規程により、總裁から永年勤続効績者に授与されるもので、はい用方については\*鉄道頭功章と同様である。

この行賞は現行規程に改正されるまでは、これら永年勤続効績者以外国鉄の業務に関与し、とくに功績のあった職員にも授与された。

この行賞は大正2・11 鉄道院職員表彰規程が制定され、翌年2・11 第1回の表彰式を挙行して以来、大正11・2・11 まで毎年2・11 に行われた。同年10・14の鉄道記念日に第11回の表彰が行われて以来、毎年10・14に挙行されることとなり現在

### 制 式

| 地 質                  | 銀色金属               |
|----------------------|--------------------|
| 大 き さ                | 縦2.6cm<br>横2.2cm   |
| 鉄 道 機 関 車<br>動 輪 の 部 | 直径1.2cm<br>金色みがき仕上 |
| 台 の 部                | 銀色なし地仕上            |
| 月桂樹葉の部               | 銀色みがき仕上            |



効績章 表



効績章 裏

に至っている。ただし行賞の該当者が重傷を負いもしくは危篤に陥り、または退職する場合等によりその必要が生じたときはそのつど表彰される。その形状および制式は上のとおりである。

——行賞。鉄道記念日。(斎藤 操)

こうそうしゃ 航送車 \*車両航送設備のある船舶に積込まれて送られる車両。わが国のような地勢では鉄道輸送に付帯して連絡船航路による輸送が必要である。現在国鉄の直営連絡船航路は6航路であるが、そのうち本州と北海道を結ぶ青森・函館間航路、本州と四国を結ぶ宇野・高松間航路は、重要な航路であり、日々の連絡旅客・荷物も多数往復している。この両連絡船航路にかぎって客車や貨車を鉄道から直接船腹に積み込み可能な連絡船を配船している。たとえば宇野に到着した四国行の車両は、そのまま宇野においてこの連絡船に積み込み、高松に到着の上は連絡船から陸揚げされ、それぞれ目的駅に運ばれる。すなわちこの航路は、特別な船舶によってあたかも鉄道線路の役目をしているのであって、この航送設備ある船舶に積込まれて本州対四国または本州対北海道と直送される車両のことを航送車と称する。(古池義雄)

こうそうひん 工送品 機関区、電車区、気動車区、客車区、貨車区、客貨車区など、区で車両の修繕を行う場合に、車両の部分品を取りはずして工場に送り、工場はこれを修繕して(または新品を作って)区に送り返している。このように区から工場に部品加修のため送付する物品を工送品といい、工場から区に返送するもの、区からの請求で送付する物品を区送り品という。

たとえば車輪タイヤの形状が摩耗のため変形した場合、正規形状にするため、車輪のみを取り外し工場に送付し、タイヤの外周を削正するなどである。(石黒 寛)

こうぞうぶつせつけいじむしょ 構造物設計事務所 国鉄の本社付属機関であり、鋼および特殊コンクリート構造物(建築物を含む)、特殊軌道(分岐器類を含む)等の設計・構造審査および設計指導、構造物等の設計に係る調査、構造物等の規格・定規図等の作成を行う機関である。昭和32・6・1 施設局特殊設計室が、施設局と建設部の所掌事務の再編成に伴って、本社付属機関として分離し、構造物設計事務所と改称したものである。東京都千代田区にある。所長のほか主任技師若干人を置いている。(宮坂正直)

こうそうりょうきん 航送料金 青森・函館間および宇野・高松間航路において旅客の申出によって、貸切級の客車を連絡船に搭載して運送する場合の料金をいう。航送料金は客車を航送するために要する船舶の運行費と、当該貸切車の貸切旅客の航路旅客運賃から構成されている。青函航路および宇高航路においては貨物運送の場合は、積換え手数の緩和、貨物の荷いたみの防止等のため、貨物を貨車に積載のまま船舶に積載するたてまを採っているが、旅客輸送の場合は、列車による輸送は航路の接続駅までとし、航路区間においては、旅客自らが連絡船の船室に乘換えることをたてまとしている。貸切客車の航送料金中には航路旅客運賃を包含して、べつに航路旅客運賃を収受しないこととしている。なお現行(32・4・1)航送料金は、つぎのとおりである。

青森・函館間 1両1回につき 39,710 円

宇野・高松間 同 11,140 円 (平林喜三造)

こうそくどしだんき 高速度遮断器 (英) high speed circuit breaker 回転変流機、直流機等の整流子閃(せん)絡、水銀整流器の逆弧等の故障電流をきわめて迅速に遮断する目的に使用され、故障電流が発生してから遮断完了まで0.018秒程度